

みとめあい、協力しあうコミュニティ

「コミュニケーション不足」や「コミュニティの希薄化」などという言葉を読みますが、コミュニティは自分を受け入れてくれる安心感のある場で、多くの人との関わりを通して、自己成長につながることでできる場所です。

コミュニティとは

居住地域を同じくし、利害をともにする共同体。町村・都市・地方など、生産・自治・風俗・習慣などで深く結びつきを持つ共同体(※)。

しかし、今では地域に制限されないSNSやフォーラム、オンラインサロンなどの「オンラインコミュニティ」が誕生し、物理的な地域を有することなく、人間関係全般を表す言葉となっています。

八街市のコミュニティ

八街市では39の区が中心となって、自治会や町内会などの地縁型の「コミュニティ」が熱心に活動しています。古くは「講(こう)」と呼ばれる住民同士のたすけあいや親睦を図るための行事がありました。その中で「子安講(こやすこう)」は安産と子育てを祈願して行われる女性だけの「講(こう)」で、当番の宿(やど)に鬼子母神の軸を掛け蠟燭(ろうそく)を灯しておこなわれていました。

「子安講(こやすこう)」は休む暇のなかった女性たちの休日であり、子育ての悩みや情報交換のコミュニティであったようです。「子安講」は一区や榎戸区など市内の各所で今でも形を変えて続けられています。

新しい形のコミュニティ

近年では、テーマ型と言って、自身が居心地の良く、価値観の合うグループを自ら立ち上げる「コミュニティ」が増えています。

たとえば、子育て世代が主体となって地域の交流を図るマルシェやサロンを開催するコミュニティ活動があります。

また、同じ問題をかかえる人たちが集まり、相互理解や支援をし合う「セルフヘルプグループ(自助グループ)」等のコミュニティ活動もあります。

「セルフヘルプグループ(自助グループ)」は依存症や障がい者、不登校やひきこもり、介護者などの当事者が主体となる活動です。

必要な人が必要な時に自分に合った「コミュニティ」をつくることのできるよう地域資源や資金調達などの情報を交換し、市民も行政もあたたかく見守りや応援のできるまちづくりをめざしていきたいですね。

新しく立ち上がったテーマ型の「コミュニティ」が区などと必要に応じて相互に協力しあい、人と人がつながって、孤立のない安心できるまちづくりの輪が広がると良いですね。



(※)小学館デジタル大辞典より

PiT(ピット)には、「カーレース場の給油や整備を受ける場所」の意味があることから、まちづくり活動に携わる市民の皆さんが、活動の燃料を補給(まちづくり活動や地域資源に関する情報を収集)し、活動のメンテナンス(まちづくり活動に関する相談や支援)を受けられる場所となるよう、愛称を名付けました。また、PiT(ピット)には、「核、種」の意味もあり、今後、協働のまちづくりの拠点として、つながりや横の連携をつくる種まきをしていきます。

やちまたマルシェ

一緒に好きをつくろう

「明德やちまたこども園」の園庭をお借りして不定期に開催しているマルシェです。地元の魅力を再発見し、欲しいという思いと、人と人が集まり繋がる和が広がって欲しいという思いで開催されています。

活動は今年で8年目になり、マルシェの開催は夏前とクリスマスシーズンの年2回行っています。

地域の人たちと交流を持ちたい、パンを売りたい、作品を見てもらいたい。人それぞれが目的を持ち、実現できる場所。それが「やちまたマルシェ」での活動です。店舗数も毎回増え、子どもたちだけでなく大人も楽しみにしていることが活動の成果につながっています。

輪をつむぐコミュニティづくり

八街幼稚園から「明德やちまたこども園」に変わったとき、『こども園』について認知度が低かったこともあり、人と人をつなぐお手伝いならできると、農家でマルシェの経験がある方の思いから活動が始まりました。マルシェの回数を重ねるごとに人が増え認知度も上がり、地域との交流が広がりました。

実行委員は3名から始まり、現在は9名です。出店者から実行委員になり活動している方もいます。出店店舗は25店。地域の出店者の人たちと支えあいながら一緒に作り上げています。

【連絡先】ほっとステーション たんぽぽ
043-488-4919（あらい）

楽しくあそぼう

「やちまるキッズ」は卒園児の小学1年生が運営するお店です。子どもたちがアイデアを出し、くじ引きや看板も手作りで参加しています。他にケーキや焼き菓子、手作りパン、ハンドメイド、地域の農家の野菜、リラクゼーションなどさまざまなお店があります。

マルシェの特長は、子どもたちの安全を考えて門を閉め、安心安全な空間で開催されます。親子それぞれゆっくり、遊びも買い物も楽しめる「滞在型マルシェ」です。

100組以上で300～400名くらい参加しています。毎回、参加者は増えています。在園児、卒園児のお母さんたちの友達つながりで、一緒に来て参加しています。卒園した子どもたちと、パパ、ママたちの同窓会のような「会える場所」になっています。



ジュピター

- ・自分らしく色々なことにチャレンジ!!
- ・ゆっくり ぼちぼち でもたくましく!!
- ・個性豊かなみんなが生き生きと人生を歩めるように、たくさんの可能性が広がる世の中になることを願って元気の種をまいています

楽しい子育てをしよう!

2007年に北総台地に生を受けたダウン症のある子どもたちとその親が集まり、楽しい子育てをしようねと始まった会です。それぞれの一步一步を大切に育みながら、ダンスワークショップや手話ダンスを楽しんだり、季節のお楽しみ会で親睦を深めています。

会員は現在40家族（八街市、成田市、富里市など）。ダンス、茶話会、季節のお楽しみ会（クリスマス、ハロウィンなど）を担当者が企画。LINEグループで提案、参加者を募り開催しています。参加費は各活動ごとに決めています。特にダンスは参加者が多く、コロナ禍の中でも月2回の練習を続けてきました。専門の先生を招いてのワークショップは子どもたちのモチベーションも上がり、目を輝かせて楽しそうに踊っていました。発表の場として、八街市や成田市、佐倉市のイベントに参加。昨年は手話ダンス甲子園にチャレンジし、全国大会でダイバーシティ賞を受賞したことは子どもたちの励みと自信になっています。

連絡先

メール又は公式アカウントまでDMください

jupiterjupiter2007@gmail.com

ジュピター公式アカウント

LINE公式

アカウント



Instagram

アカウント



Instagram

アカウント



ダンス甲子園の動画

親子で成長しよう！

始まりはダウン症のある子とその親(家族)の集まりでしたが、ダウン症に限らず、障がいのある子どもや健常の子どもでも自由に参加できます。「障がいがあってもなくても、みんなと一緒に笑い合い、楽しい子育てをしよう」というメッセージを届けたいと考えています。現在はお父さんの参加が増えたり、外国由来のお子さんが参加して、活動が広がっています。

子どもたちの生き生きと活動する姿、キラキラとした笑顔、経験を積むごとに成長する姿に、親も学ぶことがたくさんあります。

子どもたちの余暇活動の一つとして、自分らしく楽しく過ごせる場、つながる場を提供できるようにコツコツと活動が続けてゆきますと話されていました。



和楽太鼓

【連絡先】 鈴木 光成 090-3544-9531

楽しく分け隔てなく

和楽太鼓は、今から40年前に渡辺哲男さんが立ち上げられました。当初は大人15人くらいからスタートし、太鼓の数も少なく、古いタイヤに布を張り練習されていました。現在は地域の方が、寄付してくださった太鼓も含め23基に増えました。

現会長の鈴木さんが入会されたきっかけは、今から7年前、ダウン症の息子さんを入会させたく訪問した際に、「ハンディキャップが有るけど大丈夫ですか？」と伺うと、快く受け入れてくださったそうです。その時に「付き添いで来ているんだったら、お父さんもどうですか？」と誘われ鈴木さんも入会されたそうです。

会員数は、現在33名。その内、障がいを持っている方が10名ほどいます。障がいがある方もない方も分け隔てなく活動しています。

地域に元気を

演奏先は地元のお祭りをはじめ、市内の幼稚園や障がい者施設、市外では、佐倉市のボランティア団体とのコラボなど、幅広く活動しています。

活動するうえで大切にしていることは、共存共栄。ハイレベルの技を求めるのではなく、会のネーミングにあるように、和んで楽しくをモットーに、お教室ではなく、それぞれが協力して活動しています。

課題は、管理維持費が掛かること。太鼓の運搬用に大型車が欲しいとも。今後も市内はもとより他市の活動団体とも幅広く提携できればと語っています。

練習日は、毎月3回(日曜日2回、金曜日の夜1回)実施。

会費:千円。(兄弟入会者:2人目からは500円)



PiTからのお知らせ

7月6日<七夕交流会> 地域力向上スクール卒業生を対象にしたおしゃべり会です。

10月19日<八街のいいね!を語ろう会(第2回)>

八街の自治会活動／区・町内会活動の実践内容を発表していただきます。
課題解決になるヒントを学ぶ集まりです。

☆ボランティア活動についての相談、助成金申請など、知りたいことをPiTで聞いてください。
コーディネーターが対応します。

協働のまちづくりの活動紹介

制服リユース活動のお知らせ(制服回収をはじめました)

卒業、成長にともない着られなくなった制服、体操服、ブラウス、ワイシャツ、制服ボタンなどを、必要な方につなぎます。八街市内の中学校の制服が対象です。

回収日時:月曜日から金曜日(祝祭日は除く) 10時から16時(事前にご連絡ください)

回収場所／ボックス:

NPO法人ハーベストミュージックジャパン事務所、ボーン・アゲイン1号店

八街市役所第1庁舎1階 協働のまちづくりPiT

八街市総合保健福祉センター3階 八街市社会福祉協議会

寄付の方法:

洗濯されている服をビニール袋に入れて、回収ボックスに入れてください。

汚れ、破れのあるものは受付できません。

制服の提供以外の支援も受け付けています。

(制服リユース活動への寄付、ボランティアとして活動に参加など)

連絡先: NPO法人ハーベストミュージックジャパン 八街市八街ほ381-27

☎ 043-308-8950

後援: 八街市、八街市社会福祉協議会



PiT開設1周年です!



令和5年6月から令和6年3月までの来訪者数

総数	人数／件数		内訳			
	来訪	電話	一般	団体法人	行政関係	事業者
337	298	39	138	74	102	11



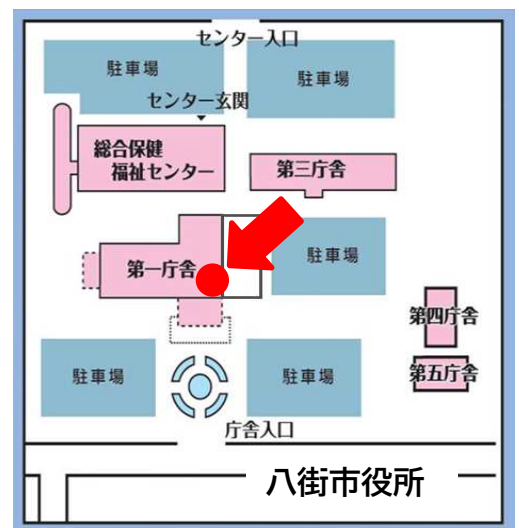
八街市
市民協働推進課
ホームページ



協働のまちづくり
PiT
メールアドレス



協働のまちづくりPiT (ピット)



開場時間:月曜日～金曜日 9時～17時

〒289-1192 八街市八街ほ35番地29

市民協働推進課 協働のまちづくりPiT(第1庁舎1階)

043-312-2012 kyodo-

team@city.yachimata.lg.jp

発行:八街市市民協働推進課 令和6年6月